

見本



動物看護師統一認定機構

2013年度動物看護師統一認定試験

受験実施要項

• CBT方式（6月）版 •

動物看護師統一認定機構

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階

TEL 03-5772-6612 FAX 03-5772-6613

e-mail info@ccrvn.jp URL <http://www.ccrvn.jp/>

1 実施概要

受験資格（マークシート方式、CBT方式共通）

- (1) 動物看護に関する課程を有する専門校・専修学校・短期大学・大学の既卒者もしくは卒業見込み者
- (2) 動物看護師として3年以上（2014年4月1日時点）の勤務経験のある者
- (3) 上記資格に相当する経歴を有する者であると機構が認めた者

日程・試験方式

試験方式	日 程	受験対象者	
		在学生	在学生以外
マークシート方式	2014年2月16日（日）	○	○
CBT方式（3月）	2014年3月23日（日）	×	○
CBT方式（6月）	2014年6月22日（日）	○	○

- ・マークシート方式とCBT方式（3月）を併願受験することは出来ません。
- ・マークシート方式またはCBT方式（3月）とCBT方式（6月）の2回出願することが可能です。
- ・CBT方式とは、コンピュータを使用して解答する試験方式となります。

CBT方式会場（6月）

都市名	会場名	所在地
札幌		
仙台		
東京		
相模原	会場名・所在地は交付された受験票の裏面をご確認ください。	
名古屋		
大阪		
高松		
福岡		
那覇		

受験料（マークシート方式、CBT方式共通）

10,000円

- ・別途、願書請求料1通につき1,000円が必要です。
- ・2014年2月（マークシート方式）および3月（CBT方式）を受験された方が、再度CBT方式（6月）を受験する場合の受験料は、5,000円（1通分の願書請求料を含む）となります。CBT方式（6月）での受験料5,000円の適用をご希望の方は、マークシート方式またはCBT方式（3月）の受験票を、CBT方式（6月）の出願までお手元に保管してください。

願書請求期間

- マークシート方式・CBT方式（3月）…… 受付終了しました。
- CBT方式（6月）…… 2014年2月24日（月）～4月7日（月）必着
・CBT方式（6月）の願書は、マークシート方式およびCBT方式（3月）の願書と異なります。

願書受付期間

- マークシート方式・CBT方式（3月）…… 受付終了しました。
- CBT方式（6月）…… 2014年2月24日（月）～4月17日（木）必着

合格発表日

- マークシート方式

2014年2月28日(金) 13:00

- CBT方式(3月)

2014年3月28日(金) 13:00

- CBT方式(6月)

2014年7月1日(火) 13:00

- ・合格者の受験番号を、動物看護師統一認定機構ホームページに掲載します。
- ・結果通知書は、上記発表日の翌日以降に発送します(お届けまでにお時間を頂戴する場合があります)。
- ・合格者は、結果通知後、資格認定申請手続きを行ってください。

試験時間

開場	
一般問題	詳細は、交付された受験票の裏面をご確認ください。
実地問題	

試験構成

● 一般問題	問題数 / 100問	解答時間 / 90分	試験問題 / 五肢択一
--------	------------	------------	-------------

● 実地問題	問題数 / 40問	解答時間 / 40分	試験問題 / 五肢択一	*図表、写真または動画を使用した問題とする
--------	-----------	------------	-------------	-----------------------

試験分野 (マークシート方式、CBT方式共通)

大項目	中項目	小項目			
I 基礎動物看護学 I	01 解剖学・生理学	A 細胞と組織	B 細胞の構造	C 上皮組織、支持組織、筋組織、神経組織	D 神経機構と液性機構による生体恒常性
	02 病理学(基本病変)	A 変性	B 壊死	C 低形成・萎縮・肥大・過形成	D 腫瘍など
	03 薬理学	A 薬物の投与経路	B 薬理作用と有害作用	C 薬物アレルギー	D 薬物相互作用
		E 薬物の耐性	F 薬物の吸収と排泄など	G 薬物の保管	H 治療
	04 動物遺伝学	A 遺伝様式の基礎	B 遺伝子間の連鎖・組み換え	C 遺伝子の構造と機能、突然変異、発生異常など	
	05 動物行動学	A 動物行動学の基本概念	B 行動発達過程	C 行動の周期性	D 行動の動機付けなど
		E コミュニケーション行動	F 生殖行動	G 社会行動	H 維持行動
		I 動物行動の学習理論など			
	06 放射線学	A 放射線の基本的性質	B 放射線の測定法と単位	C 放射線発生装置のしくみ	D 放射線の生態への影響
		E 放射線防護と関連法規など			
	07 免疫学	A 生体防御(免疫)の概念	B 自然免疫	C 獲得免疫	D 免疫細胞の役割
		E 体液性免疫と細胞性免疫	F 抗原抗体反応を利用した検査	G ワクチン(予防接種)など	
	08 微生物学	A 細菌の分類と細菌の構造	B 細菌の増殖と代謝	C 細菌の感染と発症	D 抗菌薬と耐性
	E ウイルスの分類と性状	F ウイルスの培養と検出法	G ウイルス感染と発症	H 真菌	
	I 微生物の滅菌と消毒	J 微生物学的検査と安全	K バイオハザード	L その他の微生物	
09 寄生虫病学	A 原虫	B 吸虫	C 糸虫	D 線虫	
	E 節足動物(ダニ・昆虫)	F 予防方法など			
10 公衆衛生学	A ヒトと動物の共生と公衆衛生	B 感染症とその対策	C 食品衛生	D 公衆衛生行政など	
11 毒性学	A 化学物質の有害作用	B 中毒など			
12 繁殖学	A 生殖器官の発生と構造	B 生殖機能の調節機構	C 雄の生殖周期、発情期および性行動	D 受精と着床	
	E 妊娠と胎子発育	F 分娩、帝王切開	G 妊娠・分娩時の異常	H 産褥期の異常	
13 野生動物学	A 野生動物の生態と生息環境	B 絶滅危惧種の保全	C 野生動物の保護管理	D 外来生物の対策と関連法規	
II 基礎動物看護学 II	01 動物看護の基本概念・職業倫理	A 動物看護の概念	B 生命倫理	C 職業倫理	D 動物福祉など
	02 動物福祉・関係法規	A 獣医師法	B 人獣共通感染症	C 感染症の予防等に関する法規	D 動物の愛護及び管理に関する法律など
	03 動物看護の展開	A 動物看護計画	B 動物看護過程	C 動物看護記録	D チームナーシングなど
	04 共通の基本看護技術	A コミュニケーション	B 保定	C バイタルサインの測定	D バイタルサインの測定 意識
		E バイタルサインの測定 呼吸	F バイタルサインの測定 脈拍	G バイタルサインの測定 体温	H バイタルサインの測定 血圧
		I 基本処置	J 基本処置 グルーミング	K 基本処置 爪切り	L 基本処置 肛門囊絞り
		M 基本処置 耳掃除	N 基本処置 排泄援助ほか		
	05 診療に伴う動物看護技術	A 臨床検査技術	B 臨床検査技術 検査機器の取り扱い	C 臨床検査技術 糞便検査	D 臨床検査技術 尿検査
		E 臨床検査技術 血液検査	F 臨床検査技術 細菌・真菌検査	G 臨床検査技術 皮膚検査	H 臨床検査技術 X線検査
		I 臨床検査技術 心電図検査	J 臨床検査技術 超音波検査	K 臨床検査技術 CT・MRI検査など	L 薬剤の投与方法
		M 薬剤の投与方法 経口	N 薬剤の投与方法 外用薬	O 薬剤の投与方法 吸引吸入法	P 薬剤の投与方法 注射法
		Q 処置	R 処置 体位変換	S 処置 包帯法	T 処置 薬法など

見本

大項目	中項目	小項目			
III 応用動物看護学 I	01 受付業務	A 主訴の確認	B カルテの作成	C 入退院手続き	D 薬の説明
		E 会計業務			
	02 外来診療看護業務	A 問診	B 体重測定・体温測定	C 薬の準備など	
	03 入院診療看護業務	A 病床の準備・管理	B 排泄物の観察・確認	C 疼痛管理	D 飼い主さんのメンタルケア
		E 輸液管理	F 褥瘡管理	G 入院室の清潔確保など	
	04 周術期看護関連業務	A 術前看護	B 術前看護 手術室と環境	C 術前看護 器具と機械の準備・滅菌	D 術前看護 人員の手洗い・手消毒等の装着
		E 術前看護 皮膚・眼・粘膜の術前準備	F 術前看護 動物の患者の固定	G 術中看護	H 術中看護 手術助手の役割
		I 術中看護 器具・機械出しの役割	J 術中看護 術中の患者の看護	K 術中看護 麻酔管理補助など	L 術後看護
		M 術後看護 麻酔期からの覚醒	N 術後看護 出血等確認	O 術後看護 疼痛管理	P 術後看護 術創部の保護・管理
		Q 術後看護 退院時の飼い主へのアドバイスなど			
05 環境整備看護業務	A 院内感染予防	B 入院動物のケージ清掃	C 消毒法など		
06 動物栄養学	A 5大栄養素とその役割	B 栄養と栄養素	C エネルギーと食事の給与量	D ボディコンディションスコア	
	E 基礎カロリーなどの算出法	F 動物(犬・猫)に食べさせてはいけない食品	G 維持期の栄養管理	H 高齢期の栄養管理	
	I 妊娠・授乳期の栄養管理	J 成長期の栄養管理			
07 救命救急時の動物看護	A 心肺蘇生法	B ショック	C 中毒	D 誤飲誤食	
	E 外傷	F 熱傷	G 熱中症	H 溺水	
	I 感電など				
08 終末期動物患者の看護	A ターミナルケア	B 動物の死の取り扱いなど			
09 予防動物看護	A 不妊・去勢手術のメリットデメリット	B 狂犬病予防ワクチン	C ノミダニ予防	D 犬糸状虫症予防など	
10 対象動物別の看護	A 家庭動物(犬・猫)の生態・飼育管理	B エキゾチックペットの生態・飼育管理	C 産業動物	D 実験動物	
11 パピー(子犬子猫)の看護	A パピーの飼育管理	B 社会化期の重要性	C パピーに不可欠な予防接種	D パピークラスなど	
12 シニア(老犬老猫)の看護	A シニアの飼育管理	B シニア期の機能変化	C 夜鳴き改善	D 徘徊改善	
	E 褥瘡改善	F 認知障害	G 排泄の改善など		
IV 応用動物看護学 II	01 内科系疾患	A 消化管・肝臓・脾臓・造血器などの主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	02 心・脈管疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	03 内分泌・栄養・代謝疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	04 泌尿器疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	05 アレルギー・免疫疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	06 呼吸器疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	07 脳・神経疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	08 運動器(筋骨格系)疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	09 歯・口腔疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	10 皮膚疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	11 生殖器疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	12 眼科疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		
	13 耳鼻咽喉疾患	A 主要症状と関連検査	B 薬物療法など		

願書請求から認定登録証発行までの流れ(CBT方式(6月))

受験願書の請求	2014年2月24日(月)～ 4月7日(月) 必着	本機構ホームページより、動物看護師統一認定試験の受験願書請求を行ってください。 ・願書請求受理後、1週間程度でのお届けとなります。
願書の到着	2014年2月24日(月)～	願書一式が同封されているかを確認してください。 ①実施要項 ②受験願書 ③写真票 ④受験票 ⑤結果通知送付用封筒(クリーム色) ⑥出願用封筒(茶色) ⑦払込取扱票(受験料および願書請求料用)
出願	2014年2月24日(月)～ 4月17日(木) 必着	<p>願書等への記入</p> <p>②～⑦に必要な事項を記入してください。 ※本冊子の記入上の注意をよく確認の上、ご記入ください。</p> <p>受験料等の振込み・受領証の貼付</p> <p>⑦の払込取扱票を用い、郵便局より受験料および願書請求料を振込み、②受験願書の所定の欄に、払込金受領証(またはご利用明細票)の原本(またはコピー)を貼付してください。 ※1枚の払込取扱票で振込めるのは、1名分の受験料・願書請求料です。1枚で複数名分の振込みは出来ません。 ※願書に貼付した払込金受領証にて、振込日や振込先、金額等が確認出来ない場合、願書を受理出来ないことがあります。 ※振込手数料はご負担ください。 ※一度振り込まれた受験料・願書請求料は、受験の辞退等理由を問わずお返し出来ませんので、あらかじめご了承の上、お振込みください。 ※払込金受領証(またはご利用明細票)をもって、領収証に代えさせていただきます。 お手元に領収証が必要な場合は、コピーを使用してください。 ※出願の有無にかかわらず、願書請求料はお振込みください(願書請求料のみをお振込みの場合は、払込取扱票の金額欄を1,000円に訂正の上、お振込みください)。</p> <p>出願書類の確認</p> <p>本冊子「出願前の確認事項」を参考に、不備がないかを確認してください。</p> <p>出 願</p> <p>⑥の封筒に、②～⑤を入れて、必ず簡易書留にて送付してください。 ※1つの封筒で、1名分のみご出願いただけます。</p>

受験票の 交付	CBT方式(6月) 2014年6月8日(日)頃 までの到着予定	各試験日の2週間前までに到着しない場合には、事務局まで速やかにご連絡ください。 ※受験番号および試験会場は、受験票でのご案内となります。記載された「受験番号」・「試験会場」を必ずご確認ください。 ※受験票の裏面にて「試験会場の詳細」・「試験時間」を必ずご確認ください。 ※試験会場および試験時間の変更は出来ません。 ※受験票は、登録証が発行されるまで、大切に保管してください。紛失等による受験番号のお問合せには、ご対応致しかねます。
試験当日	CBT方式(6月) 2014年6月22日(日)	本冊子「3. 試験当日の注意事項」をよくご確認の上、各試験会場へお越しください。
合格発表 と結果通知書の送付	CBT方式(6月) 2014年7月1日(火)	13:00に合格者の受験番号を本機構ホームページに掲載します。また、合格発表日の翌日以降に結果通知書を送付します。 ※合否や受験番号に関するお問合せには、ご対応致しかねます。 ※ホームページを閲覧できない場合は、結果通知書の到着をお待ちください。 ※結果通知書のお届けには、お時間を頂戴する場合があります。 ※合格者には、結果通知書に資格認定申請手続きに関する書類を同封します。
資格認定 申請手続き	結果通知到着後	合格者は、資格認定申請手続きを行ってください。 ※申請方法等の詳細は、結果通知同封の書類をご確認ください。 ※認定申請手続きには、認定申請料10,560円(申請料7,560円+日本動物看護職協会への登録・管理料3,000円)が必要となります。
登録証の 交付	認定申請受理後、 3ヵ月	認定申請の受理後、3ヵ月ほどで、「認定動物看護師登録証」が送付されます。

2 出願について

提出書類に不備等があった場合、受験出来ないことがあります。

提出書類に記載される個人情報、受験者の特定および管理、関連情報の提供を目的として、動物看護師統一認定機構が使用し、正当な理由によらない限り、受験者の許可なく開示、提供することはありません。

出願書類記入上の注意

受験願書等の出願書類は、必ず受験者本人が記入してください。

必ず黒のボールペン・万年筆を用い、楷書で丁寧に記入してください。

書き損じた場合は、二重線で消してから書き直してください。

受験願書(②)

- 太枠内はすべて記入してください。
- 「FAX番号」や「勤務先」等がない場合には、枠内に「なし」とご記入ください。
- 「性別」は、どちらかを○してください。
- 「最終学歴」は、卒業(または中退)した学校について、その学校名と年月をご記入の上、卒業か中退に☑してください。在学中の学校は含みません。
- 「受験資格」は、複数に該当する場合でも、1箇所を☑し、詳細を記入してください。
- 「希望試験方式・試験日・会場」は、1箇所を☑してください。
- 「希望試験方式・試験日・会場」は、先着順に決定します。会場の都合により、希望に添えない場合があります。
- 「2013年度試験受験履歴」は、2014年2月(マークシート方式)および3月(CBT方式)を受験された方は、受験された試験を☑し、受験番号をご記入ください。受験されていない方は、「いずれも受験していない」を☑してください。

写真票(③)

- 太枠内に氏名・フリガナを記入してください。
- 直近3ヵ月以内に撮影した受験者本人の上半身正面・脱帽の縦4cm×横3cmの写真を貼付してください。
- 下記のような写真は、受理致しかねます。
 - ご自身でデジタルカメラ等で撮影し、印刷したもの
 - スナップ写真
 - 顔がはっきり写っていないもの
 - 顔全体が写っていないもの
 - 背景や影があるもの
 - フチがあるもの
- 写真の裏には、氏名を記入してください。

受験票(④)

- 太枠内に出願した日から、試験日より7日前まで受け取れる住所および郵便番号を記入してください。
- 太枠内の2箇所の「氏名」欄には、受験者本人の氏名を記入してください。
- 必ず指定の枠内に**332円分の切手を貼付**してください(貼付欄外には、貼付しないこと。また、切手を重ねて貼付しないこと)。

結果通知送付用封筒 (5)

- 太枠内に郵便番号、住所、氏名(受験者本人の氏名)を記入してください。
- 結果通知を送付するための封筒です。合格発表日から1ヵ月の間、受取可能な住所をご記入ください。
- 必ず指定の枠内に、**140円切手を貼付**してください。

出願用封筒 (6)

- 住所、氏名を記入し、**必ず簡易書留で郵送**してください。

郵便振替払込取扱票 (7)

- 2014年2月実施のマークシート方式または3月実施のCBT方式の受験の有無を選択し、受験された方は、受験番号を記入し、金額欄に「5000」円と記入してください。受験されていない方は、願書請求部数1通の場合には、金額欄に「11000」円と記入してください(願書請求料は1通につき1,000円です)。
- 「ご依頼人」欄に、受験者本人の住所、氏名、電話番号を記入してください。
- 1枚で複数名分の振込みは出来ません。

出願前の確認事項

下記の表を参考に、記入漏れ等の不備がないかを必ず確認してください。
書類に不備があった場合、受験票の交付の遅延や、受験できなくなる可能性があります。

チェック欄	チェック内容
	②～⑥に記入漏れがない
	⑦払込金受領証(またはご利用明細票)を、②受験願書の所定欄に貼付した
	③写真票に所定の証明写真を貼付した
	④受験票の所定欄に、332円分の切手を貼付した
	⑤結果通知送付用封筒の所定欄に、140円切手を貼付した

3 試験当日の注意事項**【集合・交通について】**

1. 試験開始前に試験に関する説明を行いますので、各試験開始の15分前までに必ず着席してください。
2. 原則として、各試験開始時間後30分経過してからの受験は認めません。
3. 公共交通機関の遅延等の理由で遅刻した場合、遅延証明書等の提出は必要ありません。各試験会場の係員に申し出てください。
4. 試験会場へは、公共の交通機関をご利用ください。交通手段と所要時間は、各自でよくご確認ください。なお、会場への直接のお問合せは、ご遠慮ください。また、本機構事務局へのお問合せには、ご対応致しかねます。
5. 試験当日、交通機関の大規模な事故等、不測の事態が起こった場合は、試験の開始時間を遅らせる等の措置をとることがあります。
6. 欠席される場合の事務局への連絡は不要です。

【携帯品】

1. **受験票**: 必ず持参してください。
※忘れた場合には、係員まで速やかに申し出てください。
2. **筆記用具**: HBまたはBの黒鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り等
3. **時計**: 携帯電話等の通信機器を時計として使用することは出来ません。
辞書機能がついた時計は使用出来ません。
時計のアラームの使用は禁止します。
4. **室内履き**: 試験室により土足厳禁の場合があります。持参することをおすすめします。

【注意】

1. 受験票は、氏名と受験番号が見えるように、机上の受験番号の下に置いてください。
※席を離れる際には、受験票を必ず携帯してください。
2. 机の上には、受験票、鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム、鉛筆削り、メガネ、時計以外は置くことが出来ません。
※風邪等の理由から、ハンカチやティッシュペーパーの使用を希望する場合は、試験監督者に申し出て、許可を受けてから使用してください。
※計算機やメモ用紙の持込みは出来ません。
3. 耳栓は、試験監督者の指示が聞き取れないことがあるので、使用を禁止します。
4. 携帯電話は、必ず電源を切り、かばんの中へしまってください。バイブレーション機能も禁止とします。
5. 原則として、試験時間中の退室は出来ません。
6. 試験時間中、質問がある場合や消しゴム等を落とした場合、気分が悪くなった場合は、手をあげて係員に知らせてください。
7. 試験会場において、配布された問題用紙・解答用紙等はすべて回収します。誤って持ち帰った場合、失格となることがあります。
8. カンニング等の不正行為を行った場合、失格となります。
9. ゴミの持ち帰りにご協力ください。

**試験当日の
緊急連絡先**

動物看護師統一認定機構 事務局 TEL. 03-5772-6612